



けやき会HPリニューアルオープンお知らせ

けやき会HPをリニューアルオープンしています。

U R L : <http://www.keyaki-kai.com/>
E-mail : info2@keyaki-kai.com

内容の充実、管理情報の一元化とセキュリティの強化、電子媒体の利用によるコスト削減などを目的に、名簿管理や会報発行でお世話になっている株式会社サラトにHP開設を委託しました。コンテンツも充実しておりますので、ぜひご覧ください。

ごあいさつ

けやき会 会長 芝 田 健 輔



けやき並木の落ち葉が風に舞う季節になりました。この会報の原稿を書く季節が訪れると一年の時が経つのは早いと感じます。一年を振り返ってみると様々な出来事があったように思います。その中でも看護・医療に関するニュースでは7月に日野原重明先生が亡くなられたことが記憶に残っているのではないのでしょうか。謹んで哀悼

の意を表します。日野原先生は2001年から地域ケア開発研究所設立委員会の委員長に就任されました。地域ケア開発研究所は2001年に兵庫県立附置研究所推進センターの設置にはじまり、2004年に地域ケア開発研究所として開設され、現在に至ります。災害看護や国際地域看護、まちの保健室など多岐にわたり貢献しています。ここでは書ききれないほどの魅力あふれる活動のため、ぜひ一度ホームページをご覧ください。

さて、話は戻りますが、私が日野原先生と聞いて思い出すことは「生き方上手」という著書です。私がこの著書と出会ったのは現役で大学合格できず、予備校に通っていた時でした。この本のなかに「よい出会いがある。それは、あなたの才能なのです」という項目があります。生き方のモデル探し、モデルに学ぶこと、

そして出会いは自分から探し出すことなどについて書かれています。私の場合は兵庫県立看護大学に入学でき、そこで出会った同期の友人や先輩後輩たち、そして今働いているうえで考え方の基礎を教えていただいた先生方、そのすべての方々が大切な出会いでした。就職してからも、とても多くの人に出会うことができました。

来年は兵庫県立看護大学創立から25周年を迎えることになります。創立20周年の時には明石看護キャンパスで記念イベントを開催し、同時に学内での同窓会も開催しました。私も参加しましたが、懐かしい友人や先生たちに出会うことができました。けやき会は25周年目にも同窓会の開催を企画していく予定です。卒業生の皆様は、現在様々な分野で活躍されていることと思いますが、同窓会などのイベントで学年や分野を越えての交流ができればよいと考えています。また在学中に熱心にご指導いただいた先生方との再会も楽しみのひとつになればと思います。日野原先生の言葉を借りれば、様々な出会いのためにまずは自分から一歩を踏み出してみることが大切なのかもしれません。その一歩や将来のことで悩んだり考えたりすることがあればいつでも大学へ来てください。先生方やけやき会もお手伝いできるように関わってほしいと思います。

けやき会主催セミナー 平成29年5月14日

テーマ： **よい眠り、よき人生を！ —眠るために生きる—**

講師： 兵庫県立大学看護学部 精神看護学教室 助教 武内 玲 氏

今年は、けやき会役員の武内玲氏（兵庫県立看護大学9期生）による「睡眠」に関するセミナーを開催いたしました。会員の皆様は、夜間に良い睡眠が取れているでしょうか。交替制勤務による睡眠の質の低下や、家事・育児による睡眠時間の減少、ストレスや疾患による睡眠障害など、学生時代の頃より、睡眠の問題を抱えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

当日は、小さなお子さんから学生、会員の皆様、地域の方々と幅広い年齢層の方が参加していただき、睡眠に関する基本的な知識のレクチャーを受け、「よく眠れる時は、日中にどんな

ことをしたか」それぞれの体験を出し合い、睡眠の質を上げるために効果があった点について説明を受けました。さらに、「よく眠れるために、どんな工夫をしているか」についてもそれぞれが工夫している点を出し合い、「同じことをしてる」「その工夫がいいなと思った」「やってみたい」といった感想が聞かれました。

けやき会では、引き続き、樺まつりでのセミナーを開催していきたいと考えております。来年度、皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

2017年 樺まつり

平成29年度樺まつり実行委員長
3回生 成瀬 真菜

樺まつり当日は、前日の天気とは打って変わり快晴の中行うことができました。今まで以上に出席して下さる企画者様が増え、今までの看護学部らしい企画に加え様々なジャンルの企画を行うことができ、来場者の幅も広がったように感じました。

樺まつりの準備をはじめた12月にはこうして樺まつりを迎えることができるとは思えないほど不安でした。今まで、様々な学祭に出席させていただくことはありましたが、1から作っていくことは、初めての経験でした。そこには、目に見えない多くの苦労があること、大変だったからこそ、実現できた時は自分にとって大きな自信になるということを実感することができました。

こうして、開催することができたのは樺まつりを盛り上げようと参加して下さった各出展者様・クラブ会の方々、フォローして下さった先生方、各担当の責任をきちんと果たし、助け合ってくれた学生会執行部員等多くの方の力添えがあったからだと思います。決して一人で開催するの

ではないという気持ち、大変だった準備期間のこのころの支えでした。多くの学生会執行部員をまとめるのは、難しくぶつかることも何度もありましたが、こんな私についてきてくれたメンバーや、いつもフォローして下さった前年度樺まつり実行委員の先輩方には、本当に感謝しています。

最後になりますが、来年度、樺まつり実行委員になる後輩に伝えたいことがあります。それは樺まつりを楽しみに待っていてくれる方々がたくさんいるということです。樺まつりの準備をしている際に、「毎年、樺まつりに行くのが楽しみなの。」「友達にも伝えておくれ。」とポスターの写真を撮って下さる地域の方と交流させていただくことが多くありました。当日も、「楽しかった。」「来年もまた来るね。」と笑顔で話して下さる来場者の方々がたくさんいらっしゃいました。決して、樺まつりを開催することは楽なことではないと思いますが、こうして楽しみにして下さる方がいらっしゃるからこそ、今年の反省をいかし、みんなで新たな樺まつりを作り上げていってほしいと思います。

開学25周年プレ企画 CNAS会

第1弾

「久しぶりに母校に帰って同窓生や教員たちと語り合いませんか」
～クリスマスパーティを兼ね楽しいひと時を～

日 時：平成29年12月20日(水) 18時～20時

場 所：兵庫県立大学明石看護キャンパス カフェテリア・大会議室

18時からカフェテリアでぼちぼちお集まりください。19時から大会議室には教員がみなさんの顔を見に行きます。出席者の方の近況をお聞きしたいと思います。また教員からみなさんのキャリアアップを応援するミニレクチャーを企画しています。

みなさん、お誘い合わせの上ぜひ、大学に戻ってきてくださいね。



集まれ！CNAS魂

兵庫県立大学 看護学部長 坂下 玲子

CNAS同窓生の皆さま、CNASゆかりの皆さま、お元気ですか。

内布敦子前学部長が副学長に就任されたので残期、私が学部長を務めます。早いものでこちらに赴任してから16年が経ちました。看護学部も看護大学時代を含め来年で25周年を迎えます。四半世紀の間、初代学長 南裕子先生の「ケアをする人はケアを持って育てるべし」という教えが生き続けているのを感じます。そして「患者中心の看護」はCNAS魂として皆さんの看護の芯となっているのではないのでしょうか。

先日、実習指導者となった卒業生が「私が担当する間は、子どもに拘束はしない」と学生に語る姿にCNAS魂を感じ、誇らしく思いました。一方で、それを自分の担当時間だけでなく、多くの看護師、病院、社会全体に広げていけたら素晴らしいと思いませんか。今は夢物語かもしれませんが、夢を持つことから実現がはじまります。

大学院では、皆さんの夢とキャリアを支援するため、高度看護実践コース、次世代看護リーダーコース、研究コース、共同

災害看護学専攻（グローバルリーダー養成プログラム）など多様なプログラムを設けています。明日をちょっと良くするために母校で学びませんか。

また、病院や地域で活躍する同窓生を支援することを願い、臨床看護研究支援センター（<http://kango-kenkyu.org/>）、機関紙 Phenomena in Nursing（和文可）を立ち上げました。けやき会から助成をいただき整備を進めていますので、活用してください。

本学部の財産は、2,685人（H29年3月現在）となった卒業生、修了生の皆さんです。しかし、2千人を超えたといっても、全国160万人以上の看護職の中で文化の違いを感じることもあるでしょう。たまには同窓生と語り合いあなたの中のCNAS魂を確かめてみませんか？大学では毎月第3水曜日の午後、在学生、卒業生、修了生が集えるように計画しています。詳細は後日ご連絡いたします。また、来年25周年はけやき会と共催で同窓生のための集いを企画しています。乞うご期待！

大学HP <http://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/>



「けやき会のみなさま、大学院で学びませんか」

兵庫県立大学大学院看護学研究科長 大野 かおり



けやき会のみなさま、こんにちは。この6月より研究科長をさせていただいております大野かおりです。兵庫県立大学に着任してまだ4年目の“ひよっこCNAS”です。

今日は、新米CNASの私だからこそわかる兵庫県立大学の看護のすごさを語り、是非、大学院で学んで欲しいというラブコールを送ります。

1993年の兵庫県立看護大学創設時、別の大学に勤めていた私は「とんでもない大学ができた！」と驚いたものです（驚いたのは私だけじゃありません！）。国公立大学では初めての看護系単科大学、国内だけでなく世界でも活躍する名だたる教授陣、“臨床（臨地）がおもしろい”を大切にしたい教育を根底に置きながらもアカデミックな校風、その後もわが国初の看護の実践研究拠点となる附置研究所を開設…と看護に対する並々ならぬ意気込みが溢れており、日本の看護教育・研究の先駆者としてのブランドに憧れを感じたものです。

大学院研究科もまた然り！高度実践看護師の育成を牽引し、

その輩出数はわが国トップレベルを誇っています。今、日本の保健医療福祉の発展と看護学の向上に貢献しているCNASの多くが本学研究科の修了生です！また、修了生の多くは看護界のリーダーとなる研究者や教員として活躍しています。

このように創造性豊かで高度な実践能力と研究能力を有する人材を育成するため、本学大学院研究科のカリキュラムには多彩な講義科目、研究を自律して行うためのユニークな科目を設定し、経験豊かな教員による教育を行っています。

看護職としての仕事にやりがいを感じているCNASのみなさま、現場での課題や壁にぶつかって試行錯誤しているCNASのみなさま、看護界のリーダーとして名実ともに優れたブランド力をもつ兵庫県立大学大学院で学んで、よりよいケアを創り、自分自身のブランド力、さらには社会の中の看護のブランド力を高めませんか。みなさまが母校の大学院に戻ってきてくださることをこころよりお待ちしております。

大学院共同災害看護学専攻(DNGL)学生募集！

同窓生の皆さんお元気ですか。地域ケア開発研究所の増野です。

本学が、兵庫県立看護大学の時代から災害看護の教育・研究に力を入れているのは皆さんご存知のことと思います。平成26年度からは、大学院看護学研究科に災害看護のグローバルリーダー養成を目的とした5年一貫の博士課程（共同災害看護学専攻）が設置されました。Disaster Nursing Global Leader Program (DNGL)として文部科学省の博士リーディングプログラムに選ばれています。この課程では、高知県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学、日赤看護大学と本学の5大学が共同で教育を行ないます。つまり、兵庫県立大学の共同災害看護学専攻に入学しても他の4大学が提供する科目も履修し、他の大学の先生方からの研究指導も受けます。災害看護学分野の研究課題は広いと、異なる研究課題を専門とする教員が丸となって共同災害看護学専攻の学生の

指導にあたるという大変ユニークで他に類をみないプログラムになっています。

災害への対応、防災・減災は、地球規模の重要課題となっています。中でもヘルスケア分野には、災害から人々の生活と健康を守るという観点から大きな期待が寄せられています。人々の生活と健康は、まさに看護の課題です。つまり、今、災害看護は社会から大きな期待を寄せられており、グローバルな視野を持って災害の課題に取り組むことができる看護リーダーが求められているのです。

皆さんの力を必要としています。共同災害看護学専攻で災害看護学を学び、一緒に災害の課題に取り組みませんか？少しでも関心を持ってくださった方、まずは一度ご相談ください。

（連絡先：増野園恵 sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp）
（DNGLホームページ：<https://www.dn-gl-hyogo.com>）

こんにちは 地域で小児&家族看護をやってます♪ 3期生 末 永 美紀子

けやき会のみなさま、初めまして&すっかりご無沙汰しております。神戸市垂水区の末永美紀子と申します。私は病院で4年勤務した後に「子育てしながらできる仕事をしよう」と思い、2004年に自宅で小さな保育施設を始めました。病院で出会い私を育ててくれた子どもたちや、看護の諸先輩に何かのお返しになればと、開設当初から、健常児・障がい児・要医療的ケア児がともに過ごす保育（共生保育）に、保育士や看護師の協働チームで取り組んでいます。

「必要なケアを必要なだけ必要なときに」「少人数保育でさまざまなケアニーズに対応」など、自分たちが現場で出会う課題ひとつひとつに、多職種チームでまっすぐに向かい合い、あれこれと改善を試みる毎日は、看護や保育といった区別を越えた「ケア」という仕事の喜びです。また、子ども本人、家族、医療関係者はじめ多くの専門家と地域の皆さんとともに協働し、数年以上の時間をかけて小さな創意工夫を重ねて

いけるところも地域ケアの大きな魅力です。

はじめの8年間は公的制度も補助金もない状況でしたが、ずいぶん行政の理解や制度化も進み、現在は4施設をスタッフ30余名での運営となりました。2017年3月には本学での恩師、勝原裕美子先生が聞き手というビックリどきどきのインタビューが「訪問看護と介護」（医学書院）に掲載されました。これからは「みんな一緒に大きくなろう!」を合い言葉に、仲間とともにしなやかにクリエイティブに歩んでいきたいと思います。私たちのチームに加わってくれる方、協働してくださる方をいつでも歓迎しています！
office@children-cc.orgへ
ご一報を♪



患者さんに笑顔を

8期生

兵庫県立尼崎総合医療センター（厚生労働省へ出向中） 中 嶋 美 和



私は、大学卒業後、兵庫県立尼崎病院（現在の兵庫県立尼崎総合医療センター）の泌尿器科病棟で、ストーマ造設（膀胱全摘）をした患者さんのケアに携わりました。一般的に消化管ストーマに比べ、尿路ストーマはまさに水様で漏れやすく、管理が難しいと言われる。頻繁な漏れにより、大手術が成功しても、「手術をしなければ良かった」「家族に迷惑かけてばかりで情けない」「漏れるのが不安で外へ出られない」といった声を聞くたびに、不甲斐なさを感じていました。ストーマケアの勉強会に参加はしていましたが、なかなか技術に結びつかず患者さんを支えるケアはできずにいました。そんな時

に、病棟へ皮膚・排泄ケア認定看護師（以下、師匠）が現れました。その日から、劇的に病棟のストーマケアの実践力は向上し、「尿路ストーマも漏れずに管理できるんだ。」あきらめていた気持ちが明るい方向へ変化しました。技術をマネすることで、ストーマケアが得意な看護師となり、師匠の後押しもあり、皮膚・排泄ケア認定看護師を目指し資格を得ました。100%失敗しませんよとは言えず、悔し涙を流す時もありますが、楽しくストーマケアを行っています。決して、自分だけがケアを行うストーマケア屋さんになってはならず、常にスタッフと共にケアを行うことを心がけ、みんなで患者さんを支える、そんな気持ちで仕事をしています。

実は今、行政に出向中で病院から離れています。ストーマケアに携わっておらずうずうずしています。患者さんの笑顔に会うことを楽しみに、もう少しここでがんばります。

卒後4年目を迎えて

姫路聖マリア病院 産科病棟 伊 藤 麻里子

助産師としての経験年数も4年目になり、妊産褥婦に対しても、以前より自分らしい関わりができるようになったと感じている。当院での4年目は卒後教育の最終年として位置づけていて、リーダー業務も始まっている。卒後しばらくは手技が未熟で、ひとつひとつの業務にも時間がかかっていたため、妊産褥婦とゆっくり会話することが難しく、表情の変化や思いに気づけなかった。しかし今は、手技もある程度安定し、業務も効率的に行えるようになり、妊産褥婦と関わる余裕がある。切迫早産などで長期入院になる妊婦の方には、精神的苦痛を強く感じる人も多く、それを共感し、少しでも気分転換できるような関わりができるようになったことは、大きな成長であると感じている。

昨年の3カ月間緩和ケア病棟での看護も経験した。これまでは人の出生に携わってきたが、そのときは人の最期に立ち会うことになった。緩和ケア病棟では、人生の最期をそのひとらしく過ごせるよう、様々な関わりがなされていた。飲酒

の許可、栄養科スタッフによる好物に合わせた食事の提供、心療内科医師の回診、神父によるスピリチュアルケアなども行われていた。このような様々な関わりがある中、最高の学びは看護師の痛みに対する関わりであった。緩和ケアの看護師は、患者の痛みをいち早く察知し、医師からの必要時指示だけではなく、温療法・体位変換など多くの看護技術を使って、痛みを取り除くケアを行っていた。また患者や家族が望む限り、その苦痛を傾聴し、最期まで痛みを取り除く関わりを怠らなかった。緩和ケア病棟での経験は、分娩や帝王切開後の身体的な痛みだけでなく、子宮内胎児死亡により入院された妊婦の心身の痛みに対し、自分の関わり方を見直すことができた大変大きな機会であったと思う。



お知らせ

成人看護領域からのお知らせ

成人看護事例検討会

成人看護学では、この春、成人期に病いをもった患者様やご家族への看護支援について、事例を通して考えるための事例検討会を発足しました。

日々の実践の中で経験を通して感じたこと、学んだことなど、大学で行う事例検討を通して、事例を振り返るだけでなく、一歩踏み込んで、成人看護の理解について一緒に考えましょう。

成人看護に興味がある方ならどなたでもご参加頂けます。あらゆる看護の場で頑張っておられるけやき会の皆様のご参加をお待ちしています。

今年度の残りの開催予定は下記です。

日 程：第3回 平成29年12月2日(土)
第4回 平成30年3月3日(土)

時 間：13:00～15:00

場 所：兵庫県立大学 明石看護キャンパス

参 加 費：100円

申込方法：成人看護学のホームページ(QRコード)よりお申し込みになれます。

ホームページ：http://www.dosokai.ne.jp/u-hyogo.seijin/

連絡担当：成人看護学 木村 ちぐさ

Eメール：chigusa_kimura@cnas.u-hyogo.ac.jp

TEL：078-925-9444



兵庫県立大学 臨床看護研究支援センターからのお知らせ

臨床看護研究支援センターでは、臨床現場(医療・福祉施設、地域を含む)と大学が連携し、看護ケアの質的向上を図ることを目的として、兵庫県立大学看護学部の教員が、看護研究、看護教育、コンサルテーション、教員の専門知識を活用したセミナーなど多彩な支援を行っています。

皆さんの臨床実践能力向上の機会や、問題解決の相談相手として、臨床看護研究支援センターを積極的にご活用ください。セミナーの詳細な内容や申し込み手続き、相談(「お問い合わせ」フォームをご利用ください)は、臨床看護研究支援センターのホームページからアクセスすることが可能です。

また、臨床看護研究支援センターのFacebookページを開設し、情報を発信しています。こちらは皆さんの情報交換の場として、どんどん利用してください。

今後のセミナー開催予定

・看護研究 — 授業のゴール設定と組み立て —

日時：平成29年12月9日(土)

場所：兵庫県立大学明石看護キャンパス

講師：高見美保(兵庫県立大学看護学部 教授)

李 錦純(兵庫県立大学看護学部 准教授)

・老年領域、精神科領域、術後急性期領域から見る「せん妄」の特徴とケア

日時：平成30年1月20日(土)

場所：神戸国際会館(三宮)701セミナー室

講師：小野博史(兵庫県立大学看護学部 助教)

竹原 歩(兵庫県立大学看護学部 助教)

中筋美子(兵庫県立大学看護学部 助教)

兵庫県立大学 臨床看護研究支援センター

HP：http://kango-kenkyu.org/

Mail：kango-kenkyu@cnas.u-hyogo.ac.jp

Facebookページ：https://www.facebook.com/kango.kenkyu/

母性看護領域からのお知らせ

母性看護学領域同窓会

毎年6月に母性看護学と助産師養成課程で実践研究をした卒業生と母性看護学領域の大学院修了生が集まる同窓会を開催しています。今年は、6月24日に同窓会を行い、教員を含め31名の卒業生・修了生・在学生が参加し、お互いの親睦を深めながら楽しいひと時を過ごしました。会では、大学や地域ケア開発研究所の近況についての報告や、兵庫県立看護大学開学時から母性看護学を牽引して来られ、現在

地域ケア開発研究所教授の山本あい子先生より「これまでの歩み」について興味深いお話を伺いました。

来年も6月に同窓会を開催する予定にしています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



母性看護事例検討会

母性看護学領域では、母性看護の臨床で直面する事例に焦点を当て、その事例に関する問題や課題に対する具体的な解決を考えること、参加者自身の気づきや理解を深めることを目的に事例検討会を行っています。

卒業生・修了生の皆様はどなたでも参加可能です。事例を提供してみたい方や、参加してみたい方は、ぜひ下記までご連絡下さい。

日 程：8月を除く、毎月第2木曜日

(今後の開催日程：

11月9日、12月14日、1月11日、2月8日、3月8日)

時 間：18:30～(18:00開場)

場 所：明石看護キャンパス 地下1階大会議室

会 費：200円(資料及び茶菓子代)

連絡先：母性看護事例検討会事務局(岡邑/川下)

【電 話】078-925-9441

【メール】kazuko_okamura@cnas.u-hyogo.ac.jp

老人看護領域からのお知らせ

1) 兵庫・老人看護研究会（本学にて開催）

【平成29年度の開催予定】

7月15日(土) 14時～16時：開催終了
11月18日(土) 14時～16時
平成30年3月24日(土) 14時～16時

*原則、本学大学院の修了生を対象としています。希望があれば、高見(miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp)まで問い合わせてください。

2) 認知症看護事例検討会（本学にて開催）

【平成29年度の開催予定】

7月8日(土) 10時半～16時：開催終了
11月11日(土) 10時半～16時
平成30年3月3日(土) 10時半～16時

*兵庫県看護協会の認知症看護認定看護師コース修了生が主体となって運営しています。臨床の方々のご参加も歓迎しています。希望があれば、高見(miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp)まで問い合わせてください。

地域看護領域からのお知らせ

ひょうご保健師研究会

ひょうご保健師研究会は、兵庫にゆかりのある保健師を対象に、参加者相互の研鑽を図ることを目的に平成20年度に設立された会です。

定例研究会を年3～4回行っています。

保健師の世代交代が進む今、「こんな保健師になりたい！」と保健師になったのに、現実の壁に阻まれ道に迷い始めた方、「今、頑張っていること」をみんなと共有したい方、とにかく悩みや希望も含めて、保健師の原点に戻るヒントや

明日からの活動の光と一緒に探しませんか？

<H29年度日程予定>

12月9日(土) 13:00～15:00
2月17日(土) 13:00～15:00

地域看護同窓会

保健師はもちろん、地域看護に関心がある卒業生(ゼミ生でなくても可)を対象に年1回(毎年9月ごろ)同窓会をしています。懐かしい学び舎や学友に会いに来ませんか？

地域看護領域ではHPを開設していますので、生涯・広域健康看護講座Ⅱ 地域看護領域HP(http://chiiki-cnas.jp/)をご覧ください。

精神看護領域からのお知らせ

精神看護勉強会

精神看護勉強会は、精神看護の実践家の方々とともに、実践の奥深さを学びあう事例検討会です。

2017年度開催予定 (第102回、第103回は終了しました)

第104回勉強会 2018年2月3日(土) 13:30～16:00

対 象 看護師(精神医療、精神看護に携わる)
他の医療従事者も含む

会 場 兵庫県立大学明石キャンパス (看護学部)

参加費 300円 (お茶・資料コピー代)

申込方法

メール、またはFAXにてお名前・ご所属・連絡先を明記のうえ、お申し込みください。なお、勉強会中に知り得た個人情報の守秘義務が生じますことを、ご承諾ください。

精神看護CNSの集い

精神看護CNSの集いは、精神看護専門看護師の事例検討会です。グループ・スーパービジョンの有意義な機会となっています。

2017年度開催予定 (第22回、第23回は終了しました)

第24回勉強会 2018年2月3日(土) 10:00～12:00

対 象 精神看護専門看護師教育課程を修了された方

会 場 兵庫県立大学明石キャンパス (看護学部)

参加費 100円 (お茶・資料コピー代)

お申し込み・お問い合わせ先

兵庫県立大学 看護学部 担当：武内、竹原

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13番71号

Web: http://www.pmhn-cnas.jp

TEL/FAX: 078-925-9431 Email: pmhn.cnas@gmail.com

がん看護に関心のある方へ

けやき会の皆さま、こんにちは。

今回は、がん看護学講座の活動について紹介させていただきます。在学中に、授業や実習の中でがん看護についてお伝えしてきたかと思いますが、がんは生涯のうち2人に1人が、がんにかかる時代となり、がん看護に求められる役割も多様になってきています。現在、「今後のがん対策の方向性について」(平成27年6月)や、「がん対策加速化プラン」(平成27年12月)などにおいては、ゲノム医療の実用化に向けた取組の加速化、小児がん及び希少がん対策、AYA (Adolescent and Young Adult) 世代や高齢者等のライフステージに応じたがん対策のほか、緩和ケアに関する教育の推進等が、新たなニーズとして求められています。

本講座では、平成19年より文部科学省のがんプロ事業に参画し、平成29年からは『多様な新ニーズに対応する「がん専門医

療人材(がんプロフェッショナル)』養成プラン(文部科学省)』事業に取り組んでいます。この事業では、①大学院博士前期課程：がん看護高度実践看護師コース、②博士後期課程：ケアプログラム開発者養成コース、③インテンシブコース：がん看護に従事している看護師向けのセミナーや事例検討会などを企画しております。講座HP (http://www.apnhyogo.net/)を通して情報発信をしていきますので、がん看護に関心のある方は是非ご参加ください。また、講座では「症状マネジメント(http://sm-support.net/index.html)」や「意思決定支援(http://sdminoncology.sub.jp/index.html)」に関する研究に取り組んでいます。がん看護実践の中で課題が見えてきた時こそ、大学院へ進学するチャンスです。迷ったときは、研究室へアクセスを!!

治療看護学講座(学部)、がん看護学講座(大学院)：

内布敦子、川崎優子

会報発行協力金協賛者一覧

(平成29年9月6日現在)

■平成29年

特別会員

鵜飼 和 浩
鵜山 治
岡元 行 雄
片田 範 子
南 裕 子
山本 あい子
吉本 祥 生

平10

得平(新川)佐織

平16

野長瀬(谷口)真由美
青木(中地)陽子

平18

水野 健 司
渡邊 佳 世

平19

山村(福本)愛

平20

三浦 香 織

平21

上田 美智子

平23

池田 裕 美

平27

赤澤 莉 沙

平11博前

岩切 真砂子
佐久川 政 吉

平12博前

森 菊 子

平13博前

牧野 耕 次

平14博前

松枝 美智子

平15博前

長尾 匡 子

平16博前

森山(多田)祐美

平17博前

藤田(北森)純子
笹木 忍
白石 佳子
仲村 直子

平18博前

玉田(三浦)田夜子

平20博前

増田(熊井)秋穂

平25博前

濱上(甲木)亜希子

平26博前

黒田 博 美

平14博後

渡辺 かづみ

平15博後

寒河江(野澤)美江子

平17博後

近藤(佐藤)麻理

平21博後

工藤 美 子

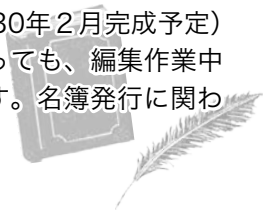
平23博後

東 ますみ
坂本 真理子

皆様ご協力ありがとうございます。会報の一部に使わせていただきます。

同窓会名簿発行について

以前からご案内しております通り、現在会員名簿の作成を行っております。(平成30年2月完成予定)
名簿登録内容確認ハガキにて、既に住所変更のご連絡をいただいている方であっても、編集作業のため、古い住所へこの会報が届く事がありますが、ご了承をお願いいたします。名簿発行に関わる一連の作業につきましては、「株式会社サルト」に一任しております。
ご協力の程、よろしくお願いいたします。



けやき会からのご案内



平成29年度 けやき会 新役員名簿

会 長	芝田 健輔	
副会長	藤原 史博	奥村 和代
書 記	犬山 知子	徳原 典子
会 計	山本 大祐	高橋美沙子
庶 務	武内 玲	濱上亜希子

平成29年度より、徳原典子さん、山本大祐さん、高橋美沙子さん、濱上亜希子さんが新たに役員となりました。新体制で役員一同頑張っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

2017年、62年ぶりとなる史上最年少プロ棋士の誕生に日本中が沸いたのと時を同じくして、1954年、当時の最年少記録保持者であった加藤一二三九段が引退されました。引退会見の中で、バツハやモーツァルトを例に出し『私および私たちトップの棋士たちが差してきた名局というのは、文化遺産として残していけば100年経っても200年経っても300年経っても人々の感動を必ず呼ぶという自信があります』と話しておられるのを耳にし、故・日野原先生の『癒しの技のパフォーマンス』という著書を追想いたしました。CNASから広がる知に裏付けられた技を、100年200年とはぐみ発展していけるよう、けやき会といたしましても全力でお手伝いさせていただきます。

兵庫県立大学同窓会 けやき会 平成28年度決算書・平成29年度予算案

【決算書】収入の部 (H28.4.1～H29.3.31) 平成29年5月11日

費 目	平成28年度決算額	備 考
会 費		
`16年度 学 部 入	¥990,000	99人×¥10,000
`16年度 修 士 入	¥160,000	16人×¥10,000
`16年度 博 士 入	¥20,000	2人×¥10,000
`00年度 学 部 卒	¥10,000	1人×¥10,000
`00年度 修 士 卒	¥10,000	1人×¥10,000
`07年度 修 士 卒	¥10,000	1人×¥10,000
`12年度 学 部 入	¥20,000	2人×¥10,000
`15年度 学 部 入	¥100,000	10人×¥10,000
特別会員	¥10,000	1人×¥10,000
学友会(ウェルカムキャンペーン事業)	¥274,655	
サラトより還元金	¥43,758	
雑収入	¥1,848	
前年度繰越金	¥8,997,097	
収入合計	¥10,647,358	

【決算書】支出の部 (H28.4.1～H29.3.31)

費 目	平成28年度決算額	備 考
I ホームページ		
作成費・年間管理費	¥0	28年度分は28年3月29日に振込済み
II 樺まつり 総会・講演会		
案内印刷・郵送	¥230,126	
消耗品費	¥11,313	
講師謝金・謝礼品	¥30,000	
講師交通費	¥3,000	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥200,000	
IV 大学への研究活動支援	¥100,000	
V 事務		
消耗品費	¥432	
通信費	¥0	
VI CNAS 基金への寄付		
寄付金	¥500,000	
VII その他		
振込手数料	¥432	
支出合計	¥1,075,303	

平成28年度決算残高
収入総計 ¥10,647,358
支出総計 ¥1,075,303
差引残高総計 ¥9,572,055

平成28年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査 町原 歩 印
町村 和子 印

兵庫県立大学同窓会 けやき会
CNAS基金 平成28年度決算書

【決算書】収入の部 (H28.4.1～H29.3.31)

費 目	平成28年度決算額	備 考
I 寄付		
寄付-1	¥131,689	
寄付-2	¥500,000	兵庫県立大学同窓会けやき会
II 利息	¥3	
III 前年度繰越金	¥202,496	
収入合計	¥834,188	

【決算書】支出の部 (H28.4.1～H29.3.31)

費 目	平成28年度決算額	備 考
I 母校への寄贈	¥389,016	大学への寄贈(点字ブロック124枚修繕)
支出合計	¥389,016	

平成28年度決算残高
収入総計 ¥834,188
支出総計 ¥389,016
差引残高総計 ¥445,172

平成28年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査 町原 歩 印
町村 和子 印

【予算案】収入の部 (H29.4.1～H30.3.31) 平成29年5月14日

費 目	平成29年度予算案	人数	会 費
会 費			
`96年度 学部卒業	¥264,000	33	8,000
`97年度 学部卒業	¥520,000	52	10,000
`98年度 学部卒業	¥650,000	65	10,000
修士卒業	¥60,000	6	10,000
`99年度 学部卒業	¥220,000	22	10,000
修士卒業	¥100,000	10	10,000
`00年度 学部卒業	¥180,000	18	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
`01年度 学部卒業	¥280,000	28	10,000
修士卒業	¥0	0	10,000
`02年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥10,000	1	10,000
`03年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
`04年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥30,000	3	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`05年度 学部卒業	¥340,000	34	10,000
修士卒業	¥30,000	3	10,000
`06年度 学部卒業	¥200,000	20	10,000
修士卒業	¥50,000	5	10,000
`07年度 学部卒業	¥390,000	39	10,000
修士卒業	¥60,000	6	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`08年度 学部卒業	¥260,000	26	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
`09年度 学部卒業	¥770,000	77	10,000
修士卒業	¥40,000	4	10,000
`10年度 学部入学	¥140,000	14	10,000
修士入学	¥10,000	1	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
`10年度 学部卒業	¥160,000	16	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`11年度 学部入学	¥40,000	4	10,000
修士入学	¥0	0	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
`11年度 学部卒業	¥340,000	34	10,000
修士卒業	¥0	0	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`12年度 学部入学	¥20,000	2	10,000
修士入学	¥10,000	1	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
`12年度 学部卒業	¥290,000	29	10,000
修士卒業	¥0	0	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`13年度 学部入学	¥20,000	2	10,000
修士入学	¥60,000	6	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
`14年度 学部入学	¥100,000	10	10,000
修士入学	¥0	0	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
DNGL 入学	¥0	0	10,000
`15年度 学部入学	¥80,000	8	10,000
修士入学	¥0	0	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
DNGL 入学	¥10,000	1	10,000
`16年度 学部入学	¥30,000	3	10,000
修士入学	¥0	0	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
DNGL 入学	¥20,000	2	10,000
`17年度 学部入学	¥1,040,000	104	10,000
修士入学	¥110,000	11	10,000
博士入学	¥20,000	2	10,000
DNGL 入学	¥20,000	2	10,000
前年度繰越金	¥8,997,097		
収入総計	¥16,491,097		

【予算案】支出の部 (H29.4.1～H30.3.31)

費 目	平成29年度予算案	備 考
I ホームページ		
年間管理費	¥87,000	
II 樺まつり 総会・講演会		
案内印刷・郵送	¥300,000	
消耗品費	¥50,000	
講師謝金・謝礼品	¥30,000	
講師交通費	¥10,000	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥230,000	
IV 大学への研究活動支援	¥100,000	
V 事務		
消耗品費	¥10,000	
通信費	¥10,000	
VI 寄付		
CNAS 基金	¥500,000	
VII 名簿代	¥1,000,000	名簿代100万円 5年毎に発行(次回H34年度)
VIII 予備費	¥100,000	
支出総計	¥2,427,000	
収支差額	¥14,064,097	